

ごあいさつ

知立市では、市民の皆様が家庭のように感じることができるような、また、誇りを持てるような「新しい知立」の実現をめざし、各種施策を推進しております。

この中で、下水道を整備することが、都市の健全な発達及び公衆衛生の向上並びに公共用水域の水質保全に繋がることは改めて申し上げるまでもありません。

知立市の下水道の始まりは、昭和41年に公共下水道として昭和地区を供用開始し、その後昭和50年からは、境川流域下水道の流域関連公共下水道事業として現在も整備を進めています。しかし、現在の知立市の下水道普及率は、やっと50%を少し上回った程度であり、県下の平均と比較してみても低い水準となっています。また、東海・東南海地震などの大規模地震への備え、雨水による浸水被害への対応、老朽化施設の改築更新などの対応も求められている状況にあり、厳しい財政事情の中ではありますが、普及促進と併せてこれらの事業も実施していく必要があります。

そこで、知立市では、国の下水道ビジョンで示されている基本方針や施策の方向性などを踏まえて、「安心して快適に暮らせるまちづくりをささえる下水道」を基本理念とし、知立市の下水道事業の将来像と、それを実現するための具体的な施策を示した『知立市下水道ビジョン』を策定しました。

このビジョンでは、下水道施設の効率的な新規建設(普及促進)、維持管理並びに改築更新等に関して、今後10年間の指針並びに財政健全化に向けた中長期計画を示しており、今後は、このビジョンに基づいて、私たちの大切な「水」をさらに甦らせ、快適で安全・安心な暮らしを実現し、また持続可能な活力ある社会の構築に向けて、下水道事業を引き続き推進していきます。

これからも下水道事業に、なお一層のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

平成22年3月



知立市長 林 郁夫